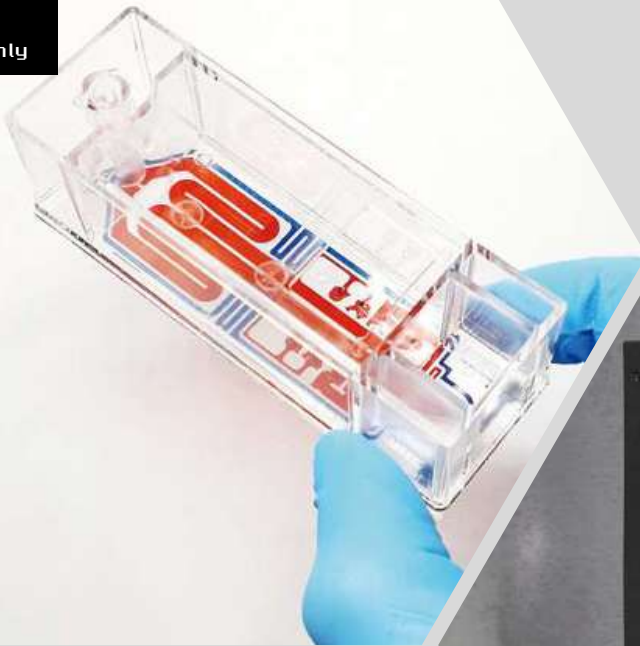


研究用
Research Use Only

CURIOSIS



Cellpuri™
Disposable cell enrichment chip

遠心分離不要、 マイクロ流路で細胞濃縮を可能に。

Cellpuri™は、遠心分離なしに細胞を濃縮できるディスポーザブルチップ。マイクロ流路内のレオロジー現象を利用し、細胞懸濁液を濾過し培地と細胞に分離することができる画期的な技術です。

- 滅菌済みディスポーザブルチップ
- 約2分間で20倍以上の細胞濃縮が可能
- 遠心分離が不要。細胞へのストレスを最小限に
- すべての処理はクリーンベンチ内で実施可能
- クロスコンタミネーションのリスクを排除

細胞の濃縮

Cell
Concentration

用途例

Application

PMBC分離

WBC/PBMC
Separation

血漿の分離

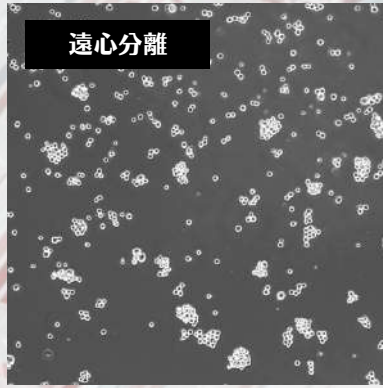
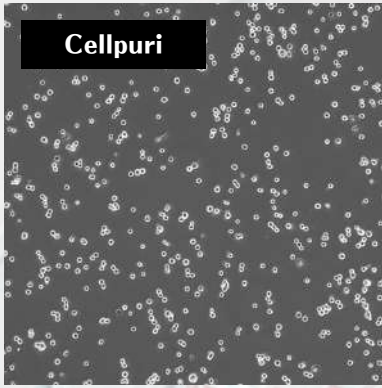
Plasma
Separation

評価デモ受付中！



Eureka Technologies

ユーレカ・テクノロジーズ株式会社



MCF7のような付着細胞は、細胞継代中に凝集塊を形成する傾向があります。しかし上の画像に示すように、Cellpuriで濃縮処理すると、細胞の凝集が減少する傾向があります。遠心分離では細胞がペレット化されるため、凝集細胞が増加します。



マイクロ流路内での細胞の流れ

FLF技術とは

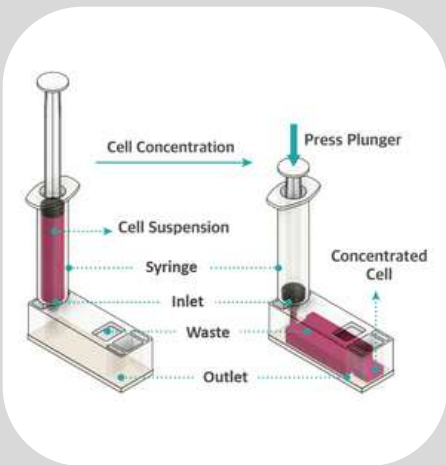
Filter - Less - Filter Technology

このマイクロ流路を用いたチップベースの細胞の分離・濃縮技術は、チップ内の無数の極小サイズのチャンネルにより、懸濁液から特定のサイズの粒子を分離・濃縮、および除去するレオロジー現象を用いたフローを形成します。

マイクロチャンネルは、粒子径に応じて分離するように設計されており、大きな細胞は一方の側に向けられ、小さな細胞は横軸をランダムに流れ、最終的にはもう一方の側で収束されます。このFilter-Less-Filter(FLF)テクノロジーは、細胞濃縮だけでなく、白血球やPBMCの分離、全血からの血漿分離などに適用することが可能です。

Cellpuriチップ仕様

サイズ	76×25×23 mm
サンプルサイズ	7~15um/cells
フローレート	1ml/min
濃縮度	約20倍以上
収量	95%
処理容量	~20ml



Cellpuriの各部説明



ワンタッチで操作できるシリンジポンプ



滅菌済み個別パッケージ

